

## 宇佐美中学校 自己評価・学校関係者評価書に関する意見

## 宇佐美小中学校運営協議会

令和6年度委員 森篤

## 資料4

令和6年度 自己評価・学校

2.5以上はB、2以上はC、それ以外はDで

			具体的な項目	自己評価	学校運営協議委員からの意見
1	学校経営	学校教育目標の具現化	《学校教育目標》「学びを喜ぶ生徒」具現化するような授業を心がけ、作品にしようと進めます。	A	(別紙) の【総論的な意見】のとおり。
			《重点目標》「協働、挑戦、成長を楽しむ生ることができたと思います。」	A	
			生徒に各ステージの取組の振り返りを実施し、決めさせることは、学校教育目標の具現化	A	
			各ステージの教育活動を振り返り、今後の取組、即実践に繋げることは、学校教育目標の具現化	A	
			生徒・保護者・教職員による学校評価の結果を立てについて、指導部長会、職員会で検討することは、学校教育目標の具現化に有効である	A	
	教育活動の工夫	教育活動の工夫	主体的に学ぶ生徒の育成に向けて教育活動を実践等を準備したりし課題を意識するよう	A	
			「表現力」を意識した授業の実践をすること	A	
			よりよい学校生活を実現する生徒会活動を推進します。会長はどうか、	A	
			「学級目標達成」、「取組の振り返り」PDC など、会議、プログラム委員会、	A	
			一人一役、係長の配置、話し合い時間の確保を通して、生徒が自分たちの手で委員会、係長の立てる支援を行うことができたか。	A	
	安全教育の推進・危機管理	安全教育の推進・危機管理	合同研修等を通して、9年間の教育活動を意識することができたか。	A	
			日常的に命を守る教育を推進できたか。	A	
2	教育課程	学力の育成	活用できる基礎的な知識・技能の習得を図る	A	(別紙) の【総論的な意見】のとおり。
			ICT機器を活用した授業をすること	A	
			教員の個人テーマの設定、年2回以上の公開見合授業はとて内研修を活性化することができたか。	A	
			家庭学習が充実する指導をすること	B	
	人間力の育成	人間力の育成	生徒たちの手で創り上げる学校行事を推進する	A	
			道徳性の育成のために「考え方論する道徳」を	A	
	体力の育成	体力の育成	地域の「人」「もの」「こと」の有効活用をすること	B	
			家庭と連携した生活習慣の確立を行うこと	B	
3	信頼される学校づくり	安心できる学校	レジリエンスの視点を取り入れた保健活動の	A	(別紙) のとおり。
			生徒の居場所がある環境づくりを推進すること	A	
		頼もしい教師	情報管理の徹底、「絶対に不祥事を起こさない」徹底が特にしっかり	A	
			人権感覚を大切にした生徒指導を実践すること	A	
	開かれた学校	目標達成までの過程を大切にした学級経営・	目標達成までの過程を大切にした学級経営・	A	
			生徒指導の4ポイントを意識した指導ができた	A	
		定期的な教育相談と早期の対応を行うこと	「宇宙ノート」を活用した生徒、保護者との開かれたか。	A	
			定期的な教育相談と早期の対応を行うこと	A	

## 【総論的な意見】

『自己評価・学校関係者評価書』に関する意見を求められて、「学校運営協議会委員」などと大層な任務を帯びていたにも関わらず、実際の「学校運営」についてはほとんどその実体を理解できていないことがあらためてわかりました。

委員の一人としては「学校運営」に関して、もっと積極的に具体的な情報収集をすべきであったと反省することしきりです。愚輩がこの1年間で、子どもたちの授業（同時に教員の授業でもあります）を客観的にその意識を持って見ようとしたことは皆無です。

教員免許も持っていないし、教員の経験もありませんし（免許がないので当たり前ですが）、1年間子どもたちと学校生活を共にした訳でもありません。また、職員会議などの学校の会議等に出席した訳でもありませんから、学校が抱える難しい問題、課題についてその実体を知ることはできませんでした。まして、課題、問題について愚輩が学校（教員）と認識を共有するところまでには到底至っていないことは明らかです。

「学校運営協議会委員」の任務を遂行するには、地域住民の立場（愚輩のこと）で「学校運営（に関する協議）」に臨むことが重要であり、必ずしも学校（教員）と認識を共有する必要がある訳ではありませんが、認識を共有することができればそれにこしたことはありません。相互にそういう努力をした方がよいと思います。

『自己評価・学校関係者評価書』と『子どもたち及び保護者へのアンケート』を関連づけて詳細に分析すれば、「学校運営」の実状が客観的に浮かび上がるのかも知れませんが、愚輩には時間がかかるかも知れません。

以上のようなことを考え始めると、『自己評価・学校関係者評価書』の個別事項について、自己評価書を読んだだけで意見を述べるのは愚輩にはかなり難しいと思います。ご理解をお願い申し上げます。

## 【「学校運営協議会」に直接関わる事項に関する意見】

『自己評価・学校関係者評価書』の内、「3 信頼される学校づくり」の「学校運営協議会やPTA活動等を通して、開かれた学校を推進することができたか」の評価項目については、「学校運営協議会」にも直接関係する評価項目でありますことから、以下意見を申し上げます。

自己評価書によれば、多くの教員が開かれた学校を推進することができたと回答してい

るところですが、校長先生、教頭先生を除く教員と学校運営協議の接点、もっと具体的にいえば学校運営委員会委員の一人である愚輩と教員との接点は皆無です。

もっとも、評価項目には、PTA活動等も含まれることから、学校運営協議会が承知していない活動を通して開かれた学校を推進することができたということかも知れません。

いずれにせよ、この評価項目は、学校と地域との関係性に関して、とりわけ重要な評価項目であると考えますことから、一層詳細な分析、考察が必要ではないかと考えます。

以上